



# Cisco Cloud Service Platform 仮想サービス アプライアンスでの Cisco VSG のインストール

この章の内容は、次のとおりです。

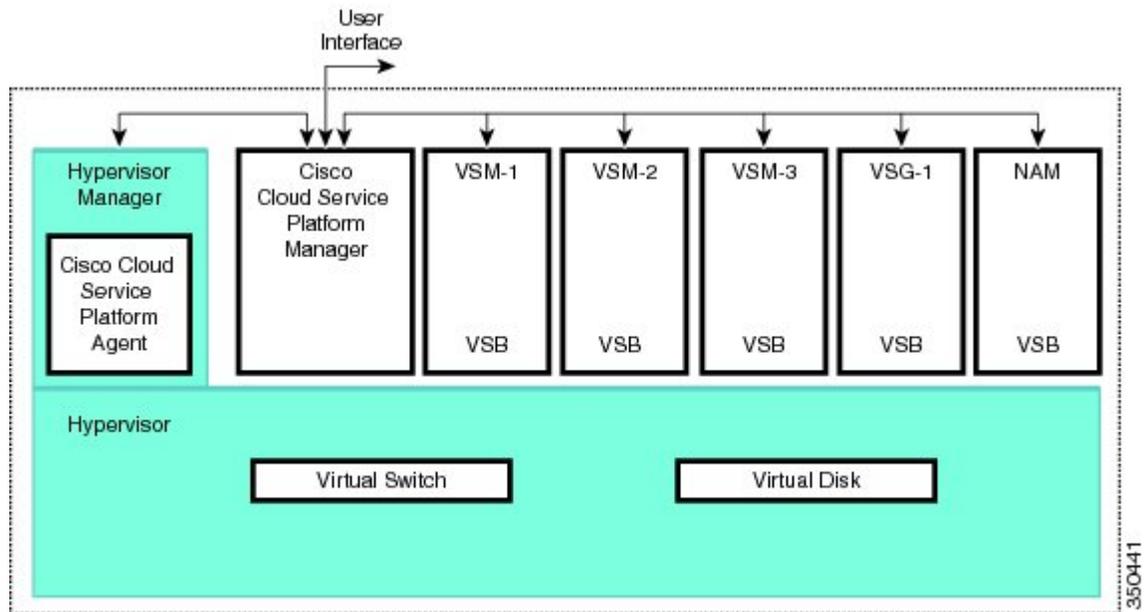
- [Cisco Cloud Service Platform での Cisco VSG のインストールに関する情報, 1 ページ](#)
- [Cisco Cloud Service Platform で Cisco VSG をインストールするための前提条件, 2 ページ](#)
- [ガイドラインと制約事項, 2 ページ](#)
- [Cisco Cloud Services Platform での Cisco VSG のインストール, 3 ページ](#)

## Cisco Cloud Service Platform での Cisco VSG のインストールに関する情報

Cisco VSG ソフトウェアには、Cisco Cloud Service Platform ブートフラッシュの他の仮想サービスブレード (VSB) ソフトウェアも提供されます (リポジトリディレクトリ)。Cisco Cloud Service

Platform には最大で 6 個の仮想サービス ブレード (VSB) があり、ここに Cisco VSG、VSM、または Network Analysis Module (NAM) を配置できます。

図 1: 仮想サービス ブレードの使用法を示した Cisco Cloud Service Platform アーキテクチャ



## Cisco Cloud Service Platform で Cisco VSG をインストールするための前提条件

- まず、Cisco Cloud Service Platform 仮想サービス アプライアンスをインストールし、ネットワークに接続する必要があります。ハードウェアを設置する手順については、『Cisco Cloud Service Platform Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide (Cisco Cloud Service Platform 仮想サービス アプライアンス ハードウェア インストール ガイド)』を参照してください。
- ハードウェア アプライアンスを設置し、ネットワークに接続すると、Cisco Cloud Service Platform の管理ソフトウェアを設定し、Cisco VSG をホストする可能性のある新しい VSB を作成および設定できます。ソフトウェアを設定する手順については、『Cisco Cloud Service Platform Software Configuration Guide (Cisco Cloud Service Platform ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド)』を参照してください。

## ガイドラインと制約事項

- Cisco Cloud Service Platform アプライアンスとホスティングされる Cisco VSG VSB は、同じ管理 VLAN を共有する必要があります。

- Cisco VSG VSB が作成される時に設定されるデータ VLAN およびハイ アベイラビリティ (HA) VLAN とは異なり、Cisco VSG VSB は管理 VLAN を Cisco Cloud Service Platform から継承します。



**注意** VSB 上の管理 VLAN は変更しないでください。管理 VLAN は Cisco Cloud Service Platform から継承されるので、管理 VLAN に対する変更は Cisco Cloud Service Platform とホスティングされるすべての VSB の両方に適用されます。

# Cisco Cloud Services Platform での Cisco VSG のインストール

Cisco Cloud Services Platform に仮想サービス ブレード (VSB) として Cisco VSG をインストールできます。

## はじめる前に

- CLI に EXEC モードでログインします。
- 作成したい Cisco VSG VSB の名前を確認します。
- 使用するのがブートフラッシュ リポジトリ フォルダ内の新しい ISO ファイルか既存の VSB 内の ISO ファイルかを問わず、次のいずれかを実行します。
  - ブートフラッシュ リポジトリで新しい ISO ファイルを使用する場合は、たとえば、nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.iso のようなファイル名を確認します。
  - 既存の VSB 内の ISO ファイルを使用する場合は、その VSB タイプのファイルの名前を確認します。この手順には、この名前の識別に関する情報が含まれます。
- Cisco VSG VSB の次のプロパティを確認します。
  - HA ID の管理 IP アドレス
  - Cisco VSG 名
  - 管理サブネット マスクの長さ
  - デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス
  - 管理者パスワード
  - データ VLAN ID および HA VLAN ID
- 次の手順は、Cisco VSG VSB にデータおよび HA VLAN を指定し、割り当てる方法を示しています。管理 VLAN は Cisco Cloud Services Platform から継承されるため、管理 VLAN を割り当てないでください。

## 手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. (config)# **virtual-service-blade name**
3. (config-vsbs-config)# **description description**
4. (config-vsbs-config)# **virtual-service-blade-type [name name | new iso file name]**
5. (config-vsbs-config)# **interface name vlan vlanid**
6. (config-vsbs-config)# **no shutdown**
7. (config-vsbs-config)# **interface name vlan vlanid**
8. (config-vsbs-config)# **enable [primary | secondary]**
9. (config-vsbs-config)# **show virtual-service-blade name name**
10. (任意) (config-vsbs-config)# **copy running-config startup-config**

## 手順の詳細

### ステップ 1 switch# **configure terminal**

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

### ステップ 2 (config)# **virtual-service-blade name**

指定された VSB を作成して、そのサービスの設定モードに切り替えます。名前には、80 文字以下の英数字文字列を指定できます。

### ステップ 3 (config-vsbs-config)# **description description**

(オプション) Cisco VSG VSB に説明を追加します。

*description* には、最大 80 文字の英数字ストリングを指定します。

### ステップ 4 (config-vsbs-config)# **virtual-service-blade-type [name name | new iso file name]**

タイプとこの Cisco VSG VSB に追加するソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定します。

- ブートフラッシュ リポジトリ フォルダの新しい Cisco VSG ISO ソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定する場合は、**new** キーワードを使用します。
- 既存の Cisco VSG VSB タイプの名前を指定する場合は、**name** キーワードを使用します。コマンド出力に示された既存のタイプの名前を入力します。

### ステップ 5 (config-vsbs-config)# **interface name vlan vlanid**

インターフェイスと VLAN ID をこの Cisco VSG に割り当てます。コマンド出力からのインターフェイス名を使用します。

(注) 存在しないインターフェイス名を割り当てようとすると、次のエラーが表示されます。

ERROR: Interface name not found in the associated virtual-service-blade type.

**注意** 管理 VLAN は割り当てないでください。データ VLAN や HA VLAN と異なり、管理 VLAN は Cisco Cloud Services Platform から継承されます。

**注意** 接続の損失を防ぐために、ホストされた Cisco VSG では同じデータ VLAN および HA VLAN を設定する必要があります。

**ステップ 6** (config-vs-b-config)# **no shutdown**

インターフェイスをイネーブルにします。

**ステップ 7** (config-vs-b-config)# **interface name vlan vlanid**

インターフェイスと VLAN ID をこの Cisco VSG に割り当てます。コマンド出力からのインターフェイス名を使用します。

(注) 存在しないインターフェイス名を割り当てようとすると、次のエラーが表示されません。

ERROR: Interface name not found in the associated virtual-service-blade type.

**注意** 管理 VLAN は割り当てないでください。データ VLAN や HA VLAN と異なり、管理 VLAN は Cisco Cloud Services Platform から継承されます。

**注意** 接続の損失を防ぐために、ホストされた Cisco VSG では同じデータ VLAN および HA VLAN を設定する必要があります。

**ステップ 8** (config-vs-b-config)# **enable [primary | secondary]**

VS-B の設定を開始して VS-B をイネーブルにします。

**enable** コマンドを、オプションの **primary** および **secondary** キーワードなしで入力した場合は、プライマリとセカンダリが両方ともイネーブルになります。

冗長ペアを導入する場合は、**primary** や **secondary** を指定する必要はありません。

非冗長 VS-B をイネーブル化する場合は、HA ロールを次のように指定できます。

- プライマリ ロールの VS-B を指定する場合は、**primary** キーワードを使用します。
- セカンダリ ロールの VS-B を指定する場合は、**secondary** キーワードを使用します。

Cisco Cloud Services Platform が次の入力を求めます。

- HA ID
- 管理 IP アドレス
- 管理サブネット マスクの長さ
- デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレス
- Cisco VSG 名
- 管理者パスワード

**ステップ 9** (config-vs-b-config)# **show virtual-service-blade name name**

(オプション) 確認のため、新しい VS-B を表示します。

Cisco Cloud Services Platform 管理ソフトウェアが Cisco VSG を設定している間に、このコマンドの出力は IN PROGRESS から POWERED ON に変わります。

**ステップ 10** (任意) (config-vs-b-config)# **copy running-config startup-config**

リブート後に永続的な実行コンフィギュレーションを保存し、スタートアップコンフィギュレーションにコピーして再起動します。

次の例は、Cisco VSG アプライアンス VSB を Cisco VSG として設定する方法を示しています。

```
csp# configure
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
N1010-63(config)# virtual-service-blade vsg-1
N1010-63(config)# description vsg-1 for Tenant1
N1010-63(config-vsbs-config)# virtual-service-blade-type new nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.iso
N1010-63(config-vsbs-config)# interface data vlan 923
N1010-63(config-vsbs-config)# interface ha vlan 930
N1010-63(config-vsbs-config)# no shutdown
N1010-63(config-vsbs-config)# enable
Enter vsb image: [nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.iso]
Enter HA id[1-4095]: 1002
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.2.71.117
Enter Management subnet mask: 255.255.255.0
IPv4 address of the default gateway: 10.2.0.1
Enter HostName: VSG-1
Enter the password for 'admin': Hello123
N1010-63(config-vsbs-config)#exit
N1010-63)#
```

次の例は、Cisco Cloud Services Platform に Cisco VSG を VSB としてインストールする方法を示しています。

```
N1010-63# configure
N1010-63(config)# virtual-service-blade vsg-1
N1010-63(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade-type summary

-----
Virtual-Service-Blade-Type   Virtual-Service-Blade
-----
VSG-1.2                      VSG-NH-hpv
                              hyperv-soak
                              VSG-354
                              VSG-357
                              vsg-1

N1010-63(config-vsbs-config)# virtual-service-blade-type new nexus-1000v.5.2.1.VSG2.1.1a.iso
or
N1010-63(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade name vsg-1

N1010-63(config-vsbs-config)# description vsg-1 for Tenant1
N1010-63(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade name vsg-1

-----
virtual-service-blade vsm2
Description:
Slot id: 2
Host Name:
Management IP:
VSB Type Name : VSG-1.0
Interface: ha vlan: 0
Interface: management vlan: 231
Interface: data vlan: 0
Interface: internal vlan: NA
Ramsize: 2048
Disksize: 3
Heartbeat: 0
HA Admin role: Primary
HA Oper role: NONE
Status: VSB NOT PRESENT
Location: PRIMARY
SW version:
HA Admin role: Secondary
HA Oper role: NONE
Status: VSB NOT PRESENT
```

```

Location: SECONDARY
SW version:
VSB Info:
-----
N1010-63(config-vs-b-config)# interface data vlan 1044
or
N1010-63(config-vs-b-config)# interface ha vlan 1045

N1010-63(config-vs-b-config)# enable
-----
Enter domain id[1-1024]: 1014
Enter Management IP address: 10.78.108.40
Enter Management subnet mask length 28
IPv4 address of the default gateway: 10.78.108.117
Enter Switchname: VSG-1
Enter the password for 'admin': Hello_123
-----
N1010-63(config-vs-b-config)# show virtual-service-blade name vsg-1
Description:
Slot id:      4
Host Name:    VSG-Fire-hpv
Management IP: 10.78.108.40
VSB Type Name : VSG-1.2
Configured vCPU:      1
Operational vCPU:    1
Configured Ramsize:  2048
Operational Ramsize: 2048
Disksize:           3
Heartbeat:          521511

Legends:  P - Passthrough
-----
Interface          Type          MAC          VLAN          State          Uplink-Int
                Pri  Sec Oper  Adm
-----
VsbEthernet4/1    data 0002.3d70.3f0c 1044  up   up Po3   Po3
VsbEthernet4/2    management 0002.3d70.3f0b 231  up   up Po1   Po1
VsbEthernet4/3    ha 0002.3d70.3f0d 1045  up   up Po2   Po2
internal          NA         NA          NA         up   up

HA Role: Primary
HA Status: ACTIVE
Status:      VSB POWERED ON
Location:    PRIMARY
SW version:  5.2(1)VSG2(1.1)
HA Role: Secondary
HA Status: STANDBY
Status:      VSB POWERED ON
Location:    SECONDARY
SW version:  5.2(1)VSG2(1.1)
VSB Info:
Domain ID : 1054
-----
N1010-63(config-vs-b-config)# copy running-config startup-config

```

次の例は、Cisco Cloud Services Platform で仮想サービス ブレードの概要を表示する方法を示しています。

```

N1010-63(config-vs-b-config)# show virtual-service-blade summary
-----
Name              HA-Role  HA-Status  Status              Location
-----
VSG-NH-hpv        PRIMARY  ACTIVE     VSB POWERED ON     PRIMARY
VSG-NH-hpv        SECONDARY STANDBY    VSB POWERED ON     SECONDARY
hyperv-soak       PRIMARY  NONE       VSB NOT PRESENT    PRIMARY
hyperv-soak       SECONDARY NONE       VSB NOT PRESENT    SECONDARY
VSG-354           PRIMARY  ACTIVE     VSB POWERED ON     PRIMARY
VSG-354           SECONDARY STANDBY    VSB POWERED ON     SECONDARY
VSG-1             PRIMARY  ACTIVE     VSB POWERED ON     PRIMARY
VSG-1             SECONDARY STANDBY    VSB POWERED ON     SECONDARY

```

